

Top Message	環境本部長インタビュー	特集 The Power of ICT	第7期富士通グループ環境行動計画	Chapter I 社会への貢献	Chapter II 自らの事業活動	環境マネジメント	データ編
-------------	-------------	---------------------	------------------	------------------	---------------------------	----------	------

事業所における温室効果ガス (GHG) 排出量の削減・エネルギー効率の改善
 環境配慮データセンターの推進
 物流・輸送時のCO₂排出量削減
 お取引先のCO₂排出量削減の推進
 再生可能エネルギー利用量の拡大
 水資源の有効利用
化学物質排出量の抑制
 廃棄物排出量の抑制
 製品のリサイクル

化学物質排出量の抑制

富士通グループのアプローチ

有害な化学物質の使用による自然環境の汚染と健康被害につながる環境リスクを予防するため、富士通グループでは約1,300種の化学物質を管理しています。

化学物質管理システム「FACE」を活用することで、各事業所での化学物質の登録・管理、化学物質等安全データシート(SDS)の管理、購買データや在庫管理と連携した収支管理を行い、化学物質管理の強化と効率化を実現しています。

2013年度の実績サマリー

第7期環境行動計画の目標 (2015年度末まで)	化学物質の排出量を 2009年～2011年度の平均以下に抑制する。 (PRTR 21トン、VOC 258トン)
2013年度実績	PRTR 21トン / VOC 246トン

2013年度の実績・成果

化学物質管理システムと購買システムの連携により化学物質の管理強化を実現

化学物質に関する法令遵守の強化に向けた新たな取り組みとして、化学物質管理システム「FACE」と購買システムを連携させ、登録が行われていない化学物質は購入できない仕組みを構築しました。

PRTR、VOC排出量の継続目標を達成

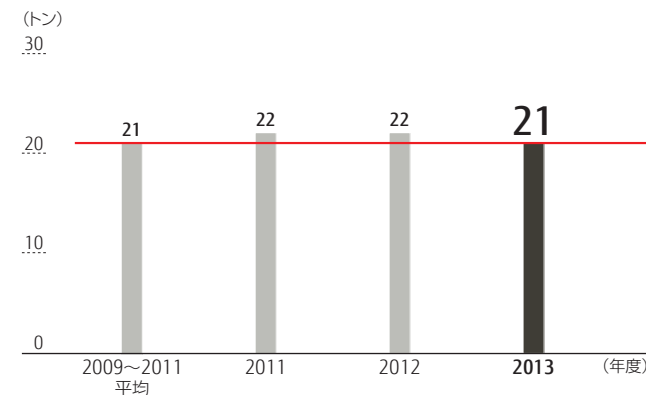
化学物質の回収率向上に向けて、回収装置のメンテナンス強化などの施策を行った結果、2013年度におけるグループ全体での化学物質排出量はPRTRが21トン、VOCが246トンとなり、2009年～2011年度の平均以下に抑制することができました。

2014年度の目標・計画

PRTR、VOC排出量の抑制を継続

引き続き、国内の富士通グループ全体での化学物質排出量を2009年～2011年度の平均以下に抑制します。特に、化学物質排出量が多いメッキ工程における新たな削減施策を検討します。

国内PRTR排出量推移



国内VOC排出量推移

